

自己紹介

田口 博一

2020年8月に北沢支部に税理士登録させて頂きました田口博一（ひろかず）と申します。今回は広報紙にて掲載をしていただけるということで、簡単に自己紹介をさせていただきます。

昭和46年生まれで、現在、妻、息子（3歳）の3人で世田谷区粕谷に住んでいます。出身（実家）は東京都港区で祖父の代から商売を営んでおり、物心ついた頃から自分で独立して何かをしたいと考えていたことを記憶しています。ただ具体的な目標はなく、両親からはある時期から急に大きな会社に入ることがお前のためだと何度も言われるようになりました。

やがて親の代で商売は閉め、その後、私は父親と同じ中央大学商学部に入學しました。当時から士業への憧れはあり、税理士養成ゼミに入部しましたが、1年

余りで挫折してしまいました。

就職においては気持ちを完全に切替え、国税専門官（税務署職員）になるべく勉強し、採用されることとなったものの相性は悪く、関東信越国税局（希望は東京国税局）の採用となり、配属は徴収部門（希望は法人部門）となってしまいました。当時、局間異動の事例は少なく、部門間異動があったとしても数年で元の部門に戻されるのが通例で、結局、徴収という仕事、関東信越にも馴染めず5年程で退職しました。

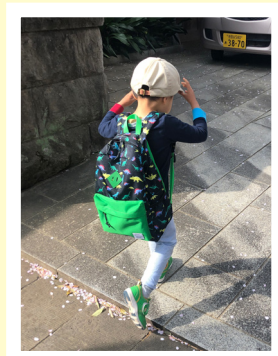
その後、銀行系リース会社に経理職として採用され、予算作成・連結決算・申告業務等を担当し、仕事は充実し、生活も安定していたのですが、やはり税理士として開業したいと気持ちが強くなり休日に専門学校に通う生活が長く続きました。

結局、税理士科目4科目取得した時点で、税理士事務所に転職、その後ようやく資格を取得し、自宅がある世田谷区北沢支部において長年の憧れであった開業をすることが出来ました。

早いもので、もうすぐ登録（開業）から1年が経過します。サラリーマン時代とは大きく異なるのが時間の裁量で、息子の保育園への送迎・公園への散歩と図らずも有メン（おじさん）税理士が板についてきました。

現在は、対応に苦慮することも少なくはないですが、世田谷区を中心に顧問先が少しずつ増え始め、ささやかながらも充実した税理士生活（業務）をさせて頂いております。

全くの未熟者であり、色々と至らぬことも多いですが、今後とも宜しくお願い致します。

表紙の
ことば

石川県輪島市の白米千枚田（しろよねせんまいだ）は世界農業遺産「能登の里山里海」の代表的な棚田です。日本海に面して1004枚の小さな田んぼ（水田一面あたりの面積は約18㎡）が幾重にも重なっています。写真は7月下旬の風景ですが、5月の田植え時期には棚田の水面が空を映し出し、秋には稲穂が黄金色に輝いて、季節ごとに美しい姿を見せてくれます。（吉田光宏）

編集
後記

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。個人的には今回からオリンピック競技に加えられた新競技のスケートボードのストリート、卓球のダブルス（混合）に感動しました。

スケートボードでは、冷静でクールな表情で大技を連続し優勝した堀米雄斗選手、「13歳、真夏の大冒険」と名言が生まれた西矢椛選手、そして瀨尻稜さんのフランクな解説が最高でした。卓球の混合ダブルスでは、中国のペアに決勝で勝利しオリンピックで、初めての金メダルを獲得しました。劣勢になっても勝利を信じてあきらめないメンタルが素晴らしいと思いました。また伊藤美誠選手が試合後、とても丁寧にラケットをケースにいれるシーンが印象的でした。

今回サッカーの決勝のチケットが当選していましたが、残念ながら首都圏は無観客で開催ということになりました。ただテレビでのオリンピックの観戦を十分楽しませてもらいました。今大会がコロナ禍に苦しむ世界の人々に希望と彩りを与えたと思います。（眞保裕行）

発行日 令和3年8月15日

発行所 東京税理士会北沢支部
東京税理士協同組合北沢支所
〒156-0043 東京都世田谷区松原6-1-10
アイリンマンション3F
TEL.03(3322)7894 FAX.03(3323)3571
E-mail:kitazawa-shibu@zeirishi-kitazawa.org

発行者 支部長・支所長 阿部 健治
編集人 広報部長 廣田 純子

印刷所 協友印刷 株式会社